



## 春になると1年生

今春卒園する普代児童館（野崎貞信館長、園児85人）の園児13人の1日入学が2月17日、普代小学校（宮古聖明校長、児童108人）で行われました。1日入学では、少し緊張気味の園児たちを2年生

の児童が優しく迎え、絵本を読んであげたり、体育館では一緒にゲームをしてくれました。教室に戻った園児らはすっかり緊張もほぐれ、元気な声が教室に響いていました。（写真）

3月23日にはもう卒園です。そして、春になるとピカピカの1年生になります。



## 心肺蘇生法を学ぶ

久慈消防署普代分署（柴田修佑所長）は2月5日から26日までの間の7日間、応急手当の普及啓発の推進を目的に、村内の7会場で救急講習会を行いました。

旭日区・中央区・鳥居・力持地区を対象にした同講習会は2月5日、自然休養村管理センターで行われ13人が参加。止血方法や心肺蘇生法を3時間学びました。（写真）「傷病者が助かる確率は、心臓停止から3分で70%、5分で50%です」と講師の佐々木昭二さん。皆さん真剣な表情で説明を聞いていました。

## 寒さの中避難訓練

昭和8年の三陸大津波襲来にあたる3月3日、村内の普代元村、太田名部、堀内の3地区で350人が参加し、津波避難訓練が行われました。

午前6時27分、震度5強の地震が発生、同6時30分に津波警報が発令されたとの想定で訓練を開始、サイレンが響き渡りました。

昭和8年の三陸大津波で99人の尊い命が奪われたここ太田名部地区では、警報と同時に、子どもからお年寄りまでが足早に避難。婦人消防協力隊も負傷者を担架に乗せて運ぶ訓練などを行っていました。（写真）

